

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録や残存検体を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

## 急性大動脈解離 Stanford A型術後の再/追加手術の成績

### 1. 研究の対象

1991年1月から2020年12月の期間、当院において急性大動脈解離 Stanford A型に対して手術を実施した症例

### 2. 研究目的・方法

急性大動脈解離 Stanford A型の手術後遠隔期における再・追加手術は避けられない問題です。特に再胸骨正中切開手術の難易度は高く、術後遠隔期における再・追加手術の実施確率は高いと予想されます。

今回、当院の実態を把握するため、過去の実施症例を対象として急性大動脈解離 Stanford A型術後の再/追加手術成績を調査することにしました。

このような調査の報告は本邦では少なく、今回の研究で得られた知見は今後の同疾患の治療に役立つものと考えています。

研究の方法は当院での実施症例を調査する観察研究として実施します。

研究期間は、院長許可後～2021年5月末日までを予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：使用しません。

情報：性別や年齢などの患者背景、術後30日以内死亡、術後在院死亡、遠隔期総死亡、大動脈関連死 など

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究は当院のみで実施する研究ですので、外部への資料・情報の提供はありません。

研究の結果は学会等で発表する予定ですが、その際も個人を特定するような情報は使用致しません。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

【 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 】

〒596-8522 大阪府岸和田市加守町 4-27-1  
岸和田徳洲会病院 臨床試験センター  
072-445-9915 (代表)

【 研究責任者 】

〒596-8522 大阪府岸和田市加守町 4-27-1  
岸和田徳洲会病院 心臓血管外科  
副部長 降矢 温一  
072-445-9915 (代表)

2020年12月17日作成